

平成 16 年度 第 3 回常任理事会 合同会議 速報録
第 2 回 理 事 会

日 時 平成 16 年 7 月 1 日 (木) 午後 2 時 ~ 5 時
場 所 インターコンチネンタルホテル 3F 「カンヌ」
出席者 48 名 + 委任状 12 通 (定数 66 名) 顧問・参与等 15 名

明日開催の第 54 回日本病院学会土屋学会長から歓迎の挨拶が行われた。
WHO の国際疾病分類 (ICD) セクションの責任者ユースタン氏が出席し、
ICD 11 への改訂作業に対する日本病院会の協力を求めた。

〔承認事項〕

1 . 会員の入退会について

北海道立紋別病院など正会員の入会が 4 件と退会 3 件、千葉お茶の水医療秘書福祉専門学院など賛助会員の入会 3 件と退会 2 件について諮られ承認された。計、正会員数は 2,709 病院 (公的 957、私的 1,752、総病床数 71 万 600 床) 賛助会員数は 523 会員となった。

2 . 厚生労働省及び各団体からの依頼について

第 33 回日本医療福祉設備学会の後援 (依頼元・日本医療福祉設備協会) など 6 件の後援・協賛依頼と、山本会長の日本医療法人協会特別顧問への就任依頼について諮られ承認された。

3 . 診療情報管理士認定試験・受験指定専門学校の指定について

横浜医療秘書歯科助手専門学校など 5 件の診療情報管理士認定試験・受験指定専門学校の指定申請について、調査報告書をもとに承認。

4 . 四病協委員ならびに外部団体派遣委員の承認について

厚労省、日医、医療機能評価機構、内保連、外保連など外部機関・団体の各種委員会等への派遣委員と四病協委員の役員分担について提案され承認。

5 . 日本病院学会評議員の推薦について

日本病院会の新理事 18 名を日本病院学会評議員へ推薦する件を承認。

〔報告事項〕

1. 各委員会、研究研修会の開催報告について

- (1) 予防医学委員会（5/28）...人間ドック認定指定医の更新について、人間ドック学会と総合健診医学会の学会・研修会への参加を条件としていたが、その参加把握が十分でなく、少し条件を修正して更新することとした。人間ドック・健診施設機能評価の認定結果の情報提供について、提供する項目や媒体などを検討した。
- (2) 広報関連委員長・担当副会長会議(6/1)... 対外情報、インターネット、雑誌・ニュース編集の各委員長と担当副会長の会議をもち、それぞれのスタンスを確認し、連携して情報収集・共有を図り、対外情報発信につなげることにした。また、広報のあり方についての役員向け勉強会や日病のロゴマーク作成、雑誌・ニュースの質の高い内容づくりなどを課題にあげた。
- (3) インターネット委員会（6/1）... 広報関連委員長会議で取り上げられた日病のロゴマーク作成と「私のカルテ」の携帯版の企画という検討課題について協議した。ストリーミング配信や電子会議システムについては引き続き開発をすすめ、日本病院学会でのシンポジウムは当初の予定どおりのメンバーで行うことにした。
- (4) 中小病院委員会（6/3）... 第54回日本病院学会のシンポジウムの進行について、学会事務局担当者をまじえ細部を詰めた。病院経営資料のデータも取り揃えた。
- (5) 日本人間ドック学会・学術図書編集委員会（6/4）... 第45回日本人間ドック学会の学会誌について編集会議を行った。学会プログラムは一部変更があり、一般演題は263題で確定、座長51人も決定した。学会誌の査読委員を広く評議員を含めてお願いし、年1回英文誌を発行することとした。
- (6) 統計情報委員会・ワーキング委員会合同会議（6/11）... 委員構成、ワーキング委員会など基本的に昨年度と変わらずスタートした。平成16年度診療報酬改定の影響度調査は480病院を集計中で、日本病院学会フォーラムの各報告者から概略説明が行われた。

- (7) 病院経営に関する委員会(6/17) ...経営管理、中小病院、人材育成の病院経営関連委員会で会議をもった。研究会については白紙の状態、将来実施するものを検討していくが、今年度は時間の関係で活動中止とし、セミナーは基本的に委員会関連のものを実施することとした。また、各委員会は日病の活動基本方針にそって、提言取りまとめ作業などを計画することとした。
- (8) 雑誌・ニュース編集委員会(6/15) ...この委員会で日病雑誌、日病ニュースの一元的な方向を出し、実際の編集は各々作業部会を立ち上げて行うこととした。雑誌は既に刷新のため委託編集を開始し、表紙や原稿集めの問題、英文誌の編集体制を今後検討する。ニュースは全体的に見直す必要があり、日病委員会の活動もリアルタイムに伝えていきたいが、編集1人体制を徐々に変えていく必要がある。
- (9) 医療経済・税制委員会(6/22) ...平成16年度病院経営分析調査の調査項目について検討、現在の回答率20%弱も上げていきたい。17年度の税制改正要望は消費税の原則課税に介護保険を含めることとし、全体の要望項目も減らした。保険請求できない材料費の第2次調査は24病院を集計し精査中である。病院建物耐用年数実態調査は目標3000病院に対し2641病院を回収した。
- (10) 地域医療委員会(6/23) ...地域医療における問題点として特定機能病院や地域医療支援病院の決め方、地域の評価という問題があげられ、また、医療機関連携や病院の外来機能のあり方、医師の休日・夜間勤務の適正化などをテーマに討議した。
- (11) 医療制度委員会(6/25) ...日病の活動基本方針にしたがい、まずテーマとロードマップをつくろうと協議した。平成18年度改定に向けて今年度中に議論をまとめる計画であるが、診療報酬のパイの取り合いではいけないだろうと幅広く論議していく方針である。外保連実務委員会から診療報酬改定の新設・改正要望項目などを提出するよう依頼があり、対応していく。
- (12) 対外情報委員会(6/25) ...対外広報に特化した委員会として設置したが、記者会見などを通して医療の正しい姿を伝え、国民を味方としないと世論は動かない。個人的なメディア関係のネットワークも築いていきたい。一度、専門家に「広報のあり方」について講演をしてもらい、それを受けて対外情報の具体策を論議したい。

- (13) 研究研修会報告... 第 2 回人間ドック・健診施設機能評価研修会
(5/28～29 東京、133 名。「人間ドック・健診施設機能評価」について、講演とシミュレーションによる機能評価のロールプレイ)

2 . 四病協諸会議の開催報告について

- (1) 総合部会 (5/26、6/23) ... 厚労省から、「医薬品流通改善懇談会」の再開にあたり委員派遣の依頼を受け、来年 4 月施行の「次世代育成支援対策推進法」について協力要請があった。日病の救急医療防災セミナーを四病協主催とする件は了承され、四病協と日医との協議の場は定期連絡協議会(仮称)として隔月開催することになった。中医協に医師会の枠のほか病院代表を送れという日病提案の要望書は全日病佐々会長の預かりとなった。
- (2) 医療保険・診療報酬委員会(6/4) ... 当委員会は診療報酬体系のあり方を中心に検討することを確認し、介護保険制度見直しに対しては小委員会を設け、必要に応じて合同開催することとした。
- (3) 8 人委員会(6/16) ... 四病協研修センターの規約は少し問題があり、引き続き検討していく。シンクタンクの設置については検討を開始したところである。同日、各団体会長・副会長をまじえて拡大委員会を開催し、6/30 予定の官製市場民間開放委員会ヒアリングへの対応を協議したが、その後先方の都合で延期となった。中医協の見直しに関する問題で、現行の医師会の枠に加えて病院経営者の団体の代表を参画させるべきであるという日病の主張は了承されたが、要望書については 6/23 の総合部会で全日病佐々会長の預かりとされた。

3 . 第 46 回日本人間ドック学会の開催概要について

平成 17 年の学会は宮下正弘学会長のもと、8/25～26 秋田市で開催する。テーマは「健康願望時代とどう向き合うか」 錯綜する健康情報と人間ドックとし、学会長講演、特別講演、教育講演、シンポジウムなどを予定する。

4 . 第 30 回日本診療録管理学会学術大会の開催について

9/15～17 千葉市・幕張メッセで、里村洋一学会長のもと第 30 回記念大会として開催する。テーマは「良質の医療と診療録」、副題に医療のアカウンタビリティを上げよう、診療情報管理士の能力と地位の向上をめざそうとつけている。一般演題は 120 題余りで例年の 5 割増と活発化し、国際的な ICD のシンポジウムも追加予定している。

5．国際モダンホスピタルショウ 2004 の開催について

7/14～16、東京・有明の東京ビッグサイトで開催し、出展社は昨年より2割増の352社となって西館の上階フロアにも会場を拡大する。同時開催のカンファレンス・セミナー等は約30が企画されている。

6．日本医療機能評価機構・改定部会の開催報告について

病院機能評価の統合版評価項目はバージョンアップを図り、来年7月1日以降の受審からバージョン5.で行くこととなる。変更点は従来なかった外来領域を新設することであると報告。

7．日本医療機能評価機構・企画運営委員会の開催報告について

評価機構に対し医療事故防止センターが厚労省の委託事業として追加された。事故情報の報告対象は従来どおり特定機能病院と独立行政法人国立病院機構であるが、それらの認定病院で発生した重大な医療事故によっては認定証の返還を求めると運用されることになる旨の説明。

8．代議員の交替について

和歌山県の濱正純代議員が成川守彦代議員（桜ヶ丘病院）に、福井県の大滝秀穂代議員が中村康孝代議員（中村病院）にそれぞれ交替した旨の報告。

9．厚生労働省等からの通知について

「医療法の規定に基づく平成16年度立入り検査の実施について」など3件の通知について報告。

10．「医業経営の非営利性等に関する検討会」の開催報告について

医療法人社団の中に非営利を目的とした出資額限度法人という類型をつくらうという検討会で、昨年10月以来久しぶりの第3回会合を開き報告書をまとめた。これにより、課税関係がはっきりしてきたが、厚労省は1ヵ月内にモデル定款と税法上の取扱いを都道府県に通知する予定。今回の取りまとめは、まずは我々の要望に沿ったものと評価できる旨の報告。

11．その他

- (1)「医療機関等における個人情報保護のあり方に関する検討会」の第1回が開かれ、個人情報保護法に係る医療分野のガイドラインを秋口にはまとめて、来年4月の全面施行に間に合わせる旨の報告。

(2) 日本診療録管理学会の理事会が 5/17 開かれ、編集、生涯教育、国際疾病分類、30 周年事業の各委員会を設置して学会運営していくこととした。国際疾病分類の改訂については WHO から活発な働きかけがあり、学会としても正面から取り組みたいと報告。

〔協議事項〕

1. 中医協の病院代表委員について

中医協委員に病院代表を入れる、医師会代表とは別枠で入れるべきであるという日病の提案は、四病協総合部会で全日病の佐々会長預かりとなったが、日病としては諸橋会長時代からの悲願であり、何としても実現したいと討議した。外部からも病院団体代表が出ていないのはおかしいという声がある、国民医療費に占める病院のウェートから見ても病院代表が出ないのはおかしいなどとさまざまな意見があったが、時間の関係で学会前夜祭の場所に移して討議の続きをすることとした。

この後、政治連盟の役員会に切り替え、今回の参院選における「西島英利後援会入会申込書」の協力呼びかけに多数の回答を得て、日医連に届ける旨の報告があり、会議を終えた。